

上越ケーブルビジョン
令和8年度
第1回 FM じょうえつ放送番組審議会 議事録

開催年月日 令和8年6月30日（火）10：00～11：00
開催場所 上越ケーブルビジョン J-pit 会議室
出席者 委員数5名
審議委員 松木成徹委員長、石川ひとみ副委員長、打田亮介委員、塚田歓太郎委員、寺島琴音委員
JCV メディアセンター担当取締役・部長 沢田真紀
メディアセンター課長代理 鶴見幸恵、メディアセンター 八木一茂

- 1 開会
- 2 挨拶 上越ケーブルビジョン 担当取締役部長 沢田真紀
- 3 議題

- (1) 番組について
 - (a) ぴっとイン！第1部 GW 特別版 5/4・5/6（中継）
 - (b) ぴっとイン！第2部 5/13・5/25（ゲスト出演）
- (2) その他
 - (a) 感想・質問
 - (b) ポッドキャスト配信について

4 議事の概要・審議内容

- (a) ぴっとイン！ GW 特別版 5/4・5/6（中継）

概要 今年1部（12時～15時）のみの特別版に。中継に出かけ、GWの街の様子を伝えた。5/4 ハートスタジオからの放送のため妙高市エリア（上越妙高駅、道の駅あらい）。5/6 大湯ベース（ハンドメイド作品のお店）直江津海浜公園でのクラフトイベント会場から中継をつないだ。2部の時間（17時～18時）はパーソナリティミックスを放送

- ①（審議委員） 大雨の中で中継を頑張っていた。テレビを見なくても、情報が得られるのは良い。
- ②（審議委員） 中継先のイベントに行っていたが風も強くマイクで風の音もよく拾っていた。こんな天候でも中継に出ているんだと感心した。
- ③（審議委員） 雨の音や、お子さんの声など中継ならではの臨場感があってよかった。
- ④（審議委員） 上越妙高駅からの中継はイベントの内容が伝わりやすかった。
- ⑤（審議委員） GWで生活のリズムが変わる人もいるなか、逆にいつもと同じ生活をしている人にとっては、GWの賑わっている雰囲気が伝わって刺激になった。

(b) ぴっとイン！第 2 部 5/13・5/25（ゲスト出演）

概要 5/13 はさくらスタジオで、「たてよこ書店」の堀田さんが出演。月に 1 回程度出演している。今回は朝市について話している。

5/25 はハートスタジオから。「なんでもラジオ」の収録にあわせ新井高校放送部が生出演。パーソナリティとかけあいをしながら学校生活についてなどトーク。

- ①（審議委員） 東京と上越の 2 拠点生活について、やりがいなどがわかった。朝市の活用に関して伝えられていて出かけたくなった。人に会いに行ける市（いち）になっていると聞き、行きたいと思わせてくれるお話だった。新井高校の放送部がこのような活動をしていることを知らなかった。都会の中では埋もれがちなことここだと活かせるのがすごい。どの番組に関しても、とにかく地域を盛り上げていると感じる。
- ②（審議委員） 朝市の話ではいろんな人がいて今後楽しい空間になればと思う。注目していきたい。
- ③（審議委員） 堀田さんは 1 ヶ月に 1 回でも継続的に出演していると、番組としても聴いている側としても良いことだと思う。
高校の情報が聴けるのは良い。体育祭は地域の人には行きづらいが「地域の人も見に来てください」という一言があり行ってよいことがわかった。
- ④（審議委員） 堀田さんは東京と上越の二拠点居住。移住はハードルが高いが、二拠点居住は割とやりやすい。そのような方をフォーカスして、二拠点居住のハードルを下げられれば東京から関わる人が増えるのかと思う。高校生が地元のローカル局で活躍できる場があるのがすごく良いと思った。今、高校生で起業している方もいるのでそれを知ってもらい、大人は応援する立場になった方が良い。
- ⑤（審議委員） 堀田さんの市の話題は声が出るくらい懐かしく感じた。今は本町を通っていても気づかない程寂しい思い。もう一度見に行きたくなるきっかけをもらった。

(2) その他

(a) 感想・質問

- ①（審議委員） ラジオはいつでも見に来てくださいと呼びかけているが、ハードルが高く感じる。実際、ラジオとテレビスタジオを見学してから見る・聞くのでは全然違って面白いし楽しい。子どもを連れて、土日にも見学に行ける機会があれば興味がわくのでは。

（事務局） 今、いろいろな場所でレギュラー番組以外のことを企画している。祝日スペシャルで親子ラジオ見学ツアーのように、説明したあとに実際のラジオブース入っていただいて、お子さんと親子でパーソナリティ体験のようなことも行っていきたい。

(b) ポッドキャスト配信について

概要 ポッドキャスト配信を開始した。ポッドキャストとは、スマートフォンやパソコンで好きな時間に何度でも聞ける音声配信サービス。これにより生放送のゲストの方にも出演した部分を聞き返してもらえる。現在は一部の番組だが、これから少しずつ音声コンテンツを配信していく。「Spotify」「Apple Podcast」「amazon music」3つのプラットフォームで配信中。若者を中心に近年需要が高まっているポッドキャストユーザーにもFMじょうえつ、FMみょうこうの番組を知るきっかけになる。

5 審議機関の答申又は意見の概要の公表

- 公表の方法
- ①事務所への備え置き
 - ②FM じょうえつホームページ (<https://www.fmj761.com/>) への掲載

6 閉会